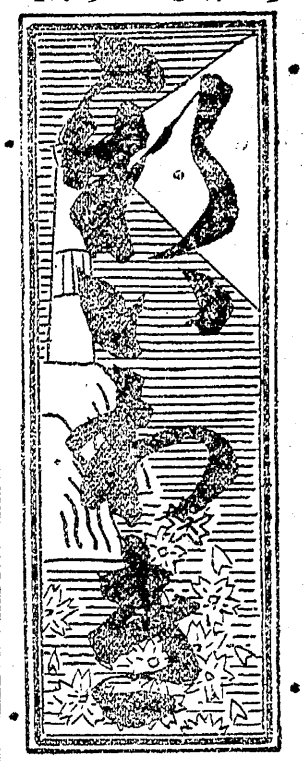
昭和五年三月三十一日第三種郵便物認可

【一月七日夕刊】



休日　日曜大祭日
一ヶ月　廿五錢
一部　税十五錢
一部　二錢
廣告料　一行四〇錢
場所指定廿錢增
發行兼編輯人　印刷人　平谷政吉
發行所　福島縣平南町廿
新いはき新聞社

各町村の新豫算は依然緊縮方針で編成

縣が町村長會を招集して來る十一日から指示協議

不景氣が逃げそうもない來る六年度の各町村豫算は二月末までに編成の規定で縣では昨秋開催された地方官會議に於ける訓示その他當年も前年度同樣政府の

嚴命で　緊縮方針に則り可成的節的の編成を指示するため來る十一日から廿二日まで縣下各地に町村長會を招集し其の協議をなす筈であるが

石城郡　は十五日午前九時半第一小學校講堂に同會を開催され庶務主任會席諸般の打合せをなすことになつた而して平町に於ける新豫算は全部前年度の緊縮に即し新

事業の　總てを整合せるものゝ如く當初豫算卅一萬七千八百圓（實行額は卅四萬餘圓）の範圍内に卅むる樣であつて同町會の招集は多分二月廿八日頃になるであらうと伺ほ本縣

東部に　於ける縣招集の町村長會は左記日割で

△双葉郡十六日、相馬郡十七日、田村郡十八日何れも元郡役所に於て

平商友會の新年宴會

來る十一日谷口樓にて

平商業學校出身者から成る商友會では來る十一日午後六時から同町谷口樓に於て恒例の新年祝賀を兼ねた懇親會を開催の筈であるが席上年頃に立つての財況觀や吉田校長から祝辭に合せた談話があるらしく會員多數出席の急込で同會獨得の企てを準備中である上の盛會であらうと

平警察署の寒稽古

一般の來場練磨を歡迎

平署では例年の如く明八日から向ふ二週間同署演武場に於て劍柔道の寒稽古を開催の筈である稽古は日中は午後三時から五時まで夜間は同七時から九時まで一般の來場練磨を歡迎すると

漸く普及されて來た石城地方の産米檢査

前年に比して約三倍する

十二月中に一五八六七俵

平穀檢査所に於ける昨年九月縣營實施後の生産米檢査は當局の指導奬勵により十二月中會てない數字を上げ四倉勿來の兩出張所を區別する俵數左記の如く此の

合計實　に一萬五千八百六十七俵に達し外に籾白一八二俵玄五同白二六を合すれば一萬六千八十三俵で累計一七七四六に上つてゐる之れを前年に於ける

四月以　降の累計六〇二六俵（昨年十二月は三四一五俵）比せば約三倍に近く各生産家に檢査觀念が漸く普及されて來たことが示されて其の等級

成績の

如きも五等以上の合格歩合七十八パーセントの好成績を上げ石城米の品位を著しく向上されるに至つたが惜しいことには米價は依然引立たず目下五等米一俵（四斗俵二俵）十二圓が尚ほ下向きで昨年

同期に　於ける十八圓四十錢に比し一俵に付三圓二十錢の下落であると十二月中の平支所二八三二俵（二等四、三等二九四等三七一、五等一四八八、等外九四〇）四倉出張六八八一俵（三等一三七、四等二八〇五、五等二六七一、等外一二六八）勿來出張所六一五四俵（二等一〇、三等三八、四等一〇〇九、五等三七七、等外一三一〇）

古物商違反の古着賣

發覺して平署に檢擧

平町驛前に舊臘廿九日から二日まで質流れ品を賣つてゐた東京市下谷區西町戸崎滝松（二）は古物の鑑札がないのを平署員に發覺檢擧取調べの上古物商違反に處された

植田町の補欠選擧

鷲氏の死亡による水利議員

石城郡の鮫川堰普通水利組合では第五區植田町に於ける組合會議員鷲清吉氏が病死の爲め此の補缺選擧を來る十七日午前九時から午後三時まで同町役場に

執行の　等であるが昭和三年十一月に改選された同區の現議員は左記の如く鷲氏を加ふる四名の黨色は政友二對民政二である關係から其の均勢を維持すべく

四倉町の鰹の豐漁

五双の船で四萬圓

平の鮮魚市場は品薄で高いが取引は昨年の約半分

平町の鮮魚市況は昨年十月の恒例惠比壽講頃から品薄の關係もある爲めに漸次高騰を示し年末から新年にかけての相場は不景氣を外の値段であつて平市場

取引の　如き鯛六十五割の高値に次へで二貫五百目前後の「グリ」一本實に十圓を唱ひ各雜魚もこれに準じて舊臘に比し二、三割になつてゐるが市場としての成績は

極めて　振はず一日精々四百圓前後の取引で昨年の半分にも足らず今七日を過ごした後を悲觀されてゐる之れに引かへ四倉の鰹漁は去十一月末から左記各船の

豐漁で　時ならぬ活況を呈し連々四十餘日に於ける「グリ」網の收獲既に四萬圓に達し豐漁の同漁も一双で約三千五百圓を上げてゐると

▲四倉町菅波未吉方有稻荷丸一萬圓、鈴木賢吉八千圓、新妻春治所有善寶丸八千圓、外二双一萬三千圓以上

現縣會

議員鷲清昇氏を亡父清吉氏の後に推す

模樣であつて同氏が立候補せば無競爭であらうと見られてゐる因に同區の有權者は二百七十四名である

▲現議員古川傳一、會川熊次（政）佐川龜太郎（民）

平の人事

▲出生

平町字長橋町二二　大谷要吉長女業子一月二日午前六時

▲婚姻

平町字三丁目三〇　高橋一郎（二八）と仙台市三百人町七三　大友ミツ（二三）の一月七日

▲死亡

平町字鎌田町四〇　加藤捨吉（五五）十二月三十日　午後三時四十五分

平町字新田町二六　小野瀬すゑ（五三）一月三日午後一時

平町字潮宜町四八　八巻繁男（三ツ）十二月廿九日午後二時

平町字一丁目六　山崎茂三郎（五六）一月三日午後六時

平町字三丁目二〇　藤田彦七（七四）一月六日午前五時

平町字二丁目二二　伊關なを（七四）一月五日午後六時

平町字大町三一　坂本巻子（四ツ）一月二日午後九時

平町字長橋町五〇　齊藤巻子（二六）十二月廿七日午前一時

平町字紺屋町四三　藤夏子（二ツ）十二月廿五日午前三時

平町字鎌田町三五　鈴木和夫（三ツ）一月六日午前十一時

平町字南町五九　草野八百藏（四四）十二月三十日午前十一時

昭和六年に平町が何を爲すべきか（四）

昭和五年度の平町の豫算を調べて見よう。歳入卅一萬七千餘圓の平町税による負擔は十六萬二千餘圓で、その中七萬六千圓は國縣税附加税による町税で、八萬六千餘圓は特別税戸數割である。昭和五年に於て平町民の收入減は約四割見當と見られてる樣だが、苛斂誅求のなき限り、國縣税も四割見當に減額され、その附加税も亦四割見當に減額さるべき筈だ、特別税戸數割も四割見當に減額して昭和六年度には大英斷をもつて十六萬二千餘圓の町税に對し四割見當の減額をなす可きだが理論と實際は一致せぬ事が往々あるから幾分の手加減をしたとしても、少くとも、二三割見當の減額を斷行す可きである。昭和五年末の物價は昭和四年の物價に比し二割五分の低落であるが、昭和五年度歳出豫算卅一萬七千餘圓から役場新築費公債費水道給水繰入支出十二萬三千餘圓を差引いた約廿萬圓に對し二割五分見當の減額をなせば、十六萬二千餘圓の町税に對し三割の減額となる。三小學校商業學校の先生の給料六萬六千圓は平町の意志より滿額してあるものだが、勉勵賞與金五千六百圓は多少遠慮してもらはねばなるまい。役場吏員の給料は一萬九千圓、その年末賞與は二千四百圓、外に町長の報酬は千八百圓、その年末賞與は五百圓、費用辨償は四百圓、特別費用辨償は五百圓であるが、物價は二割五分低落し町税の負擔者である町民の收入は四割減であるから、町役場に於ても町長以下の高給者は幾分の減額があり相なものと思はれる（筆者の都合により本稿一週間休載）

俳句

詠御題　拾章

滿莊壽主人

◇野やしろの小松林やけさの雪

◇しら雪や下乘の奥のやまつ原

◇野やしろや松原の夜つもる雪

◇雪つむや鍛のいなりのきつね穴

◇雪の日や神の馬屋にあそぶ鳩

◇雪ふるや夜かぐらはてし庭かがり

◇みきさげて神主殿とゆき見かな

◇雪晴れて社頭のひるやむら雀

◇談林の風儀に倣ふ

◇庭に雪ふるしや彌宜のをみころも

◇おもしろや雪千里振る神樂舞

畜力の利用 増進に就て（九）

今日では農具製作の進歩に伴ひ畜力中耕、除草機にも洋由のものが發明され各々特徴をもつてゐるが其の使用成績は多くは甚はだ良好で或地方に於て試驗した成績によると畑作一町歩に付て管理勞銀が在來の方法に比較して五十圓餘も節約が出來たと云つて居るものもある、兎に角斯樣な農業上重要な作業に割合低廉な畜力を利用して農業を經濟的に經營すると云ふことは甚はだ重要なことである

動力として畜力の利用

以上述べたところは農業上田畑等に於ける所謂移動作業に關する利用方法に就てゞあるが次は各種の定置作業例へば稻扱機とか籾摺機とか大豆粕碎きとか製繩機とか云ふ樣な仕事を爲すに當つてその動力として畜力を利用することも亦大に研究すべき問題である、

元來我が國に於ては馬や牛の使用と云へば多くは田畑の作業とか運搬用とかに限られて居つて之れを定置作業の原動力として使用されると云ふことは甚はだ少なかつたのである、或る地方には舊式の傘式の原動機を用ゐて籾摺りや脱穀等に供用されてゐるものもあつたのであるが近年石油發動機の發達、或は電力機の利用に漸次おされて其影をひそめると云ふ樣な地方も往々あるのである

貴婦人淑女の良品常賣
冬物入荷澤山
㊥伊勢呉服店

恐怖時代の動脈硬化症豫防及治療 新藥 アイヨー錠
試用 二圓
定價 中瓶 六圓 大瓶 廿圓
發賣以來 白熱的に歡迎せらる
特約店 山野邊藥局 平町五丁目

よく出來たと云はれるまで 町噂に これは早いと 皆かれるほど 迅速に 皆さんに滿足されるほど 親切に そして印刷代は 破格の勉强致します

新いわき新聞社 專屬磐陽舍 平町南町卅番地

ンゲイア
幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ
肺病、胸膜、肺炎カタル等
定價（二圓、四圓、六圓）
平町五丁目角
特約店 山野邊藥局

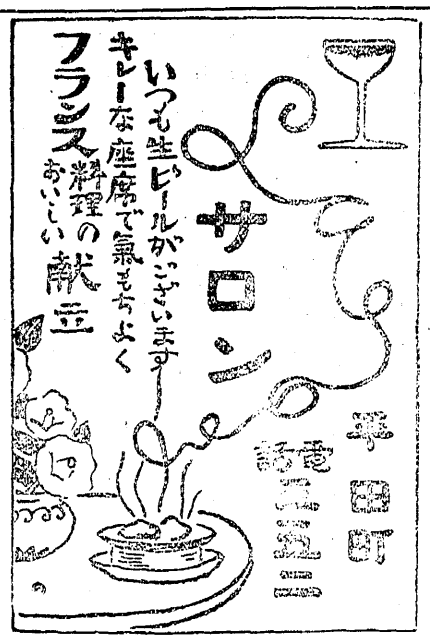
召上りませ
安くて……
うまくて……
品がよい……
カフエー タヒラ食堂
電話六二〇番

外科、小兒科 平町、電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

◆親切と迅速をモットーとする
大野寫眞館
平町仲田町
寫眞の御用命は當館へ……

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前（電話六六九番）
◆自炊の便あり

雨露に晒す程度の煙突は 明日 石綿セメント製 明日煙突
強く太く煙突
絶對にはぜない！ やけない！ くさらない！
經濟的で火災の心配がない
㊫金屋商店



萩原齒科醫院
萩原義雄
平町南町
電話二五九

看護婦
家派の求めに應じます
平看護婦會
電話二〇七番

ライト
寫眞館
平町搖籃小路
電話五三五番